

修了にあたって

静岡県総合教育センターは基本理念として、「学習と教育の中核的存在として、新しい時代の人づくり」を掲げています。生涯学習社会を生きる人の育成が求められている今、これからの学校教育には、子供たちに「生きる力」をはぐくむことが課題とされています。

そこで、私たち長期研修員は、「生きる力」をもった子供の育成を目指し、できる限り実践的な研究となるように日々研修を重ねてきました。そして、ここにその成果を「平成15年度長期研修研究報告書」としてまとめることができました。

県下各地から集まった長期研修員11名は、教職研修部経営研修課5名、情報教育部情報教育研修課3名、教育相談部相談研修課3名に分かれ、研究を進めてきました。

教職研修部では、研究主題を「『こころざし』をもった子供が育つ学校」としました。研究主題に迫るためには、「開かれた学校」の下、「頼もしい先生」が子供たちに「確かな学力」と「豊かな人間性」をはぐくむことが重要であると考え、この四つを視点として、研究を進めてきました。

情報教育部では、情報化の進展に伴い、学校教育はどのように変わるべきかを探るため、研究主題を「『情報化に対応した教育』の推進に関する研究」とし、各自がそれぞれの視点から研究を進めてきました。

教育相談部では、不登校児童生徒が自らの将来を主体的にとらえ、社会的に自立することを願い、現状より一歩でも進んだ支援ができるよう、研究主題を「不登校児童生徒への支援の在り方」として研究を進めてきました。

私たちは1年間、静岡県総合教育センターという恵まれた環境の中で充実した研修を行うことができました。日々の研修においては、評価の在り方や人間関係づくり、子供理解とその対応の在り方などの今日的課題を採り上げた各界の著名人による講演会などに参加させていただき、教員としての見識を深め視野を広げることができました。そして、三部の専門性を生かした合同研修会では、新たな情報と様々な実践理論を知る機会となりました。

また、所員の方々からいただいた数々の助言と教育や子供の未来について共に語り合い、考えを深め合った仲間の存在は、研究を進めていく上で、大きな励みとなると同時に支えともなりました。

今後は、微力ではありますが、ここで得た研修成果を生かし、県下各地の仲間と共に学校や地域、静岡県の教育の発展に寄与していきたいと思えます。

最後になりましたが、この貴重な研修の機会を与えてくださいました静岡県教育委員会や各教育関係機関に感謝いたします。また、私たちの研究に御協力いただいた各学校及び所属校の校長・諸先生方、所長及び副所長はじめ所員の方々には心よりお礼申し上げます。

平成16年3月

平成15年度長期研修員一同